

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公開番号】特開2013-97479(P2013-97479A)

【公開日】平成25年5月20日(2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2011-238170(P2011-238170)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 21/60 (2013.01)

G 06 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 1 2 0 Z

G 06 F 17/30 1 7 0 A

G 06 F 21/24 1 6 0 C

G 06 F 17/21 5 7 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

前記文書秘匿システムは、さらに、

各利用者に与えられた閲覧レベルを記憶する利用者情報記憶部と、

特定の利用者に与えられた閲覧レベルを閲覧者レベルとして前記利用者情報記憶部から取得する閲覧者レベル取得部とを備え、

前記秘匿単語記憶部は、各秘匿単語に対応付けて特定の秘匿レベルを記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を登録済み単語として選別し、選別した登録済み単語の秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルのうちいずれかの秘匿レベルを前記新たな秘匿単語の秘匿レベルとして前記秘匿単語記憶部に記憶し、

前記秘匿ファイル生成部は、前記閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を選別し、選別した単語と同じ秘匿単語に対応付けられた秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルと前記閲覧者レベル取得部によって取得された閲覧者レベルとを比較し、当該秘匿レベルが前記閲覧者レベルより高い単語を秘匿して前記秘匿ファイルを生成する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

前記文書秘匿システムは、さらに、

各利用者に与えられた閲覧レベルを記憶する利用者情報記憶部を備え、

前記文書秘匿プログラムは、

特定の利用者に与えられた閲覧レベルを閲覧者レベルとして前記利用者情報記憶部から

取得する閲覧者レベル取得部として前記文書秘匿システムを機能させ、

前記秘匿単語記憶部は、各秘匿単語に対応付けて特定の秘匿レベルを記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を登録済み単語として選別し、選別した登録済み単語の秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルのうちいずれかの秘匿レベルを前記新たな秘匿単語の秘匿レベルとして前記秘匿単語記憶部に記憶し、

前記秘匿ファイル生成部は、前記閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を選別し、選別した単語と同じ秘匿単語に対応付けられた秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルと前記閲覧者レベル取得部によって取得された閲覧者レベルとを比較し、当該秘匿レベルが前記閲覧者レベルより高い単語を秘匿して前記秘匿ファイルを生成する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

秘匿される秘匿単語を記憶する秘匿単語記憶部と、

複数の単語を含んだ文書ファイルを記憶する文書ファイル記憶部と、

前記文書ファイル記憶部に記憶される文書ファイルから当該文書ファイルに含まれる単語を抽出し、抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語を新たな秘匿単語として前記秘匿単語記憶部に記憶する秘匿単語登録部と、

特定の文書ファイルを閲覧ファイルとして前記文書ファイル記憶部から取得する閲覧ファイル取得部と、

前記閲覧ファイル取得部によって取得された閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を秘匿して秘匿ファイルを生成する秘匿ファイル生成部と、

前記秘匿ファイル生成部によって生成された秘匿ファイルを出力する秘匿ファイル出力部と

を備えることを特徴とする文書秘匿システム。

【請求項2】

前記秘匿ファイル生成部は、前記閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を所定の秘匿表記に置換して当該単語を秘匿することを特徴とする請求項1記載の文書秘匿システム。

【請求項3】

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから所定の品詞に属する単語を抽出することを特徴とする請求項1または請求項2記載の文書秘匿システム。

【請求項4】

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから固有名詞と数名詞との少なくともいずれかの単語を抽出する

ことを特徴とする請求項3記載の文書秘匿システム。

【請求項5】

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから数値と単位とを含んだ単語を抽出することを特徴とする請求項1または請求項2記載の文書秘匿システム。

【請求項6】

前記文書秘匿システムは、さらに、

開示される開示単語を記憶する開示単語記憶部を備え、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語であって且つ前記開示単語記憶部に記憶されてい

る開示単語と異なる単語を前記新たな秘匿単語として前記秘匿単語記憶部に記憶することを特徴とする請求項1から請求項5いずれかに記載の文書秘匿システム。

【請求項7】

前記秘匿単語記憶部は、各秘匿単語に対応付けて当該秘匿単語と当該秘匿単語を含んだ閲覧ファイルとのいずれを秘匿するかを示す秘匿種別を記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿種別のうち前記文書ファイルから抽出した単語と同じ秘匿単語の秘匿種別を取得し、取得した秘匿種別のうちいずれかの秘匿種別を前記新たな秘匿単語の秘匿種別として前記秘匿単語記憶部に記憶し、

前記秘匿ファイル生成部は、前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿種別のうち前記閲覧ファイルに含まれる単語と同じ秘匿単語の秘匿種別を取得し、取得した秘匿種別に基づいて各秘匿単語と前記閲覧ファイルとのいずれを秘匿するか判定し、各秘匿単語を秘匿すると判定した場合に前記秘匿ファイルを生成する

ことを特徴とする請求項1から請求項6いずれかに記載の文書秘匿システム。

【請求項8】

前記秘匿単語記憶部は、特定の秘匿単語を組み合わせた秘匿組み合わせを記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語に基づいて前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿組み合わせと同じ単語の組み合わせが前記文書ファイルに含まれているか否かを判定し、前記秘匿組み合わせと同じ単語の組み合わせが前記文書ファイルに含まれていると判定した場合に前記新たな秘匿単語を前記秘匿単語記憶部に記憶することを特徴とする請求項1から請求項7いずれかに記載の文書秘匿システム。

【請求項9】

前記文書秘匿システムは、さらに、

各利用者に与えられた閲覧レベルを記憶する利用者情報記憶部と、

特定の利用者に与えられた閲覧レベルを閲覧者レベルとして前記利用者情報記憶部から取得する閲覧者レベル取得部とを備え、

前記秘匿単語記憶部は、各秘匿単語に対応付けて特定の秘匿レベルを記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を登録済み単語として選別し、選別した登録済み単語の秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルのうちいずれかの秘匿レベルを前記新たな秘匿単語の秘匿レベルとして前記秘匿単語記憶部に記憶し、

前記秘匿ファイル生成部は、前記閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を選別し、選別した単語と同じ秘匿単語に対応付けられた秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルと前記閲覧者レベル取得部によって取得された閲覧者レベルとを比較し、当該秘匿レベルが前記閲覧者レベルより高い単語を秘匿して前記秘匿ファイルを生成する

ことを特徴とする請求項1から請求項8いずれかに記載の文書秘匿システム。

【請求項10】

秘匿される秘匿単語を記憶する秘匿単語記憶部と、

文書ファイルから前記文書ファイルに含まれる単語を抽出し、抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語を新たな秘匿単語として前記秘匿単語記憶部に記憶する秘匿単語登録部と

を備えることを特徴とする文書秘匿装置。

【請求項11】

秘匿される秘匿単語を記憶する秘匿単語記憶部と、複数の単語を含んだ文書ファイルを記憶する文書ファイル記憶部とを備える文書秘匿システムを機能させる文書秘匿プログラムであって、

前記文書ファイル記憶部に記憶される文書ファイルから当該文書ファイルに含まれる単語を抽出し、抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語を新たな秘匿単語として前記秘匿単語記憶部に記憶する秘匿単語登録部と、

特定の文書ファイルを閲覧ファイルとして前記文書ファイル記憶部から取得する閲覧ファイル取得部と、

前記閲覧ファイル取得部によって取得された閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を秘匿して秘匿ファイルを生成する秘匿ファイル生成部と、

前記秘匿ファイル生成部によって生成された秘匿ファイルを出力する秘匿ファイル出力部として前記文書秘匿システムを機能させる

ことを特徴とする文書秘匿プログラム。

【請求項 1 2】

前記秘匿ファイル生成部は、前記閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を所定の秘匿表記に置換して当該単語を秘匿することを特徴とする請求項 1 1 記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 3】

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから所定の品詞に属する単語を抽出することを特徴とする請求項 1 1 または請求項 1 2 記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 4】

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから固有名詞と数名詞との少なくともいずれかの単語を抽出する

ことを特徴とする請求項 1 3 記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 5】

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから数値と単位とを含んだ単語を抽出することを特徴とする請求項 1 1 または請求項 1 2 記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 6】

前記文書秘匿システムは、さらに、

開示される開示単語を記憶する開示単語記憶部を備え、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語であって且つ前記開示単語記憶部に記憶されている開示単語と異なる単語を前記新たな秘匿単語として前記秘匿単語記憶部に記憶することを特徴とする請求項 1 1 から請求項 1 5 いずれかに記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 7】

前記秘匿単語記憶部は、各秘匿単語に対応付けて当該秘匿単語と当該秘匿単語を含んだ閲覧ファイルとのいずれを秘匿するかを示す秘匿種別を記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿種別のうち前記文書ファイルから抽出した単語と同じ秘匿単語の秘匿種別を取得し、取得した秘匿種別のうちいずれかの秘匿種別を前記新たな秘匿単語の秘匿種別として前記秘匿単語記憶部に記憶し、

前記秘匿ファイル生成部は、前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿種別のうち前記閲覧ファイルに含まれる単語と同じ秘匿単語の秘匿種別を取得し、取得した秘匿種別に基づいて各秘匿単語と前記閲覧ファイルとのいずれを秘匿するか判定し、各秘匿単語を秘匿すると判定した場合に前記秘匿ファイルを生成する

ことを特徴とする請求項 1 1 から請求項 1 6 いずれかに記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 8】

前記秘匿単語記憶部は、特定の秘匿単語を組み合わせた秘匿組み合わせを記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語に基づいて前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿組み合わせと同じ単語の組み合わせが前記文書ファイルに含まれているか否かを判定し、前記秘匿組み合わせと同じ単語の組み合わせが前記文書ファイルに含まれていると判定した場合に前記新たな秘匿単語を前記秘匿単語記憶部に記憶することを特徴とする請求項 1 1 から請求項 1 7 いずれかに記載の文書秘匿プログラム。

【請求項 1 9】

前記文書秘匿システムは、さらに、

各利用者に与えられた閲覧レベルを記憶する利用者情報記憶部を備え、
前記文書秘匿プログラムは、

特定の利用者に与えられた閲覧レベルを閲覧者レベルとして前記利用者情報記憶部から
取得する閲覧者レベル取得部として前記文書秘匿システムを機能させ、

前記秘匿単語記憶部は、各秘匿単語に対応付けて特定の秘匿レベルを記憶し、

前記秘匿単語登録部は、前記文書ファイルから抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部
に記憶されている秘匿単語と同じ単語を登録済み単語として選別し、選別した登録済み単
語の秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルのうちいずれかの
秘匿レベルを前記新たな秘匿単語の秘匿レベルとして前記秘匿単語記憶部に記憶し、

前記秘匿ファイル生成部は、前記閲覧ファイルに含まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部
に記憶されている秘匿単語と同じ単語を選別し、選別した単語と同じ秘匿単語に対応付
けられた秘匿レベルを前記秘匿単語記憶部から取得し、取得した秘匿レベルと前記閲覧者
レベル取得部によって取得された閲覧者レベルとを比較し、当該秘匿レベルが前記閲覧者
レベルより高い単語を秘匿して前記秘匿ファイルを生成する
ことを特徴とする請求項11から請求項18いずれかに記載の文書秘匿プログラム。

【請求項20】

秘匿される秘匿単語を記憶する秘匿単語記憶部を備える文書秘匿装置を機能させる文書
秘匿プログラムであって、

文書ファイルから前記文書ファイルに含まれる単語を抽出し、抽出した単語のうち前記
秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語を新たな秘匿単語として前記秘匿
単語記憶部に記憶する秘匿単語登録部として前記文書秘匿装置を機能させる
ことを特徴とする文書秘匿プログラム。

【請求項21】

秘匿される秘匿単語を記憶する秘匿単語記憶部と、複数の単語を含んだ文書ファイルを
記憶する文書ファイル記憶部と、前記文書ファイル記憶部に記憶される文書ファイルから
当該文書ファイルに含まれる単語を抽出し、抽出した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記
憶されている秘匿単語と異なる単語を新たな秘匿単語として前記秘匿単語記憶部に記憶す
る秘匿単語登録部とを備える文書秘匿システムによって実行する文書秘匿方法であって、

閲覧ファイル取得部が、特定の文書ファイルを閲覧ファイルとして前記文書ファイル記
憶部から取得し、

秘匿ファイル生成部が、前記閲覧ファイル取得部によって取得された閲覧ファイルに含
まれる単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と同じ単語を秘匿して秘
匿ファイルを生成し、

秘匿ファイル出力部が、前記秘匿ファイル生成部によって生成された秘匿ファイルを出
力する

ことを特徴とする文書秘匿方法。

【請求項22】

秘匿される秘匿単語を記憶する秘匿単語記憶部を備える文書秘匿装置によって実行する
文書秘匿方法であって、

秘匿単語登録部が、文書ファイルから前記文書ファイルに含まれる単語を抽出し、抽出
した単語のうち前記秘匿単語記憶部に記憶されている秘匿単語と異なる単語を新たな秘匿
単語として前記秘匿単語記憶部に記憶する

ことを特徴とする文書秘匿方法。